

平成17年9月20日
 平成18年3月31日

- ・仙北市議会公営企業会計決算審査特別委員会
- ・市立田沢湖病院
- ・市立角館総合病院
- ・仙北市温泉事業
- ・仙北市水道事業

各会計決算認定



救急指定が急がれる田沢湖病院

地域の安全・安心に對して十分な配慮が必要であり、地域全体の診療体制確保の検討中である。現在は病院の自立を目標として、立て直しを図っていききたい。

市立田沢湖病院
 当期純損益、千九百七十七万三千五百七十七円
 未収入金は七月一日現在五百四十九万六千四百七十円
 不納欠損金は、三月三十一日現在で五十四万三千七百六十

円であり、理由は生活困窮者、所在不明、死亡等である。
問 医師不足の対応をどう考えているのか。
答 医師確保が第一と考えて努力している。合併後二つの市立病院の運営については、当初から検討課題であると認識していた。その検討時期が早まったと捕らえている。

平成十七年九月二十日の仙北市誕生から、平成十八年三月三十一日までの病院事業、温泉事業、水道事業の決算内容を審査するための、仙北市議会公営企業会計決算審査特別委員会が本会議で設置された。
 なお、西木地区簡易水道は企業会計に入っていないため同委員会では審査はされない。特別委員は次の十一名。
 委員長・田口喜義、副委員長・小田嶋忠、委員・田口寿宜、安藤武、浦山敏雄、小林幸悦、八柳良太郎、浅利則夫、佐藤宗善、藤原万正、田口勝次。

市立角館総合病院

当期純損益、二億八千六百二十万二千九百七十三円の利益。未収入金は七月一日現在千八百四十五万四千六百六十六円、不納欠損金は、三月三十一日現在で八十一万七千九百九十円。不納理由は田沢湖病院とほぼ同じ。

(委員会の意見)

市立田沢湖病院は医師不足が原因で経営不振に陥っており、このままでは病院事業の見直しも必要と考えるが、ま



老朽化が目立つ角館総合病院

ずは医師不足解消が第一である。加えて、市全体の医療体制を早急に整備する必要がある。当局としても、医師確保対策室の設置を含めた方向付けを早急に行うべきである。そのためにも議会も協力し、実現に努力する必要がある。市立角館総合病院の十七年度収支は、主に特別利益による増収が目立ち、経常収支比率などの数値を見ても収益性が上がったとはいえない。なお一層の経営努力を望む。以上の意見を付して全会一致で認定とした。

仙北市温泉事業

当期純損益、二千三百五十七万七千三百七十円の利益。

未収金は八月一日現在六百三十三万六千四百八十五円。

不納欠損金は平成十三年度分一件、六万九千九百円です。在不明により時効となる。

問 温泉事業の概要と今後の計画について聞きたい。

答 温泉事業は昭和三十六年にカラ吹温泉にボーリングをし「駒草荘」に引湯したこと始まりで、それ以来、乳頭地区、高原地区、水沢地区への配湯を行ってきた。十七年度の延べ供給戸数七百四十一戸、延べ供給口数二千八十三



田沢湖高原のカラ吹源泉

口、延べ供給量五十七万五千トキロリットルとなつてい

る。温泉の造成交量は昭和六十一年をピークに減少の傾向にあり、平成十六年四月から二号源泉が急激に減退傾向を示し、同年十一月に黒湯から引湯を行い、十五口の増量をした。

さらに、今回、水沢温泉から引湯を予定しており、これが実現すれば維持経費が高額な黒湯温泉の使用を中止することが出来、より安定した供給が可能になる。

委員会は全会一致で認定した。

仙北市水道事業

上水道事業、当期純損益、九百二十万五千六百四十五円の利益。

簡易水道事業、当期純損益、百十四万五千五百五十九円の利益。

未収金は八月三十一日現在上下水道合計で七百九十三万二千四百九十二円。

簡易水道で六百七十八万三千八百八十六円。

不納欠損金は平成十一年後上水・簡水、合計で三百八十二万八千三百二円。欠損処分

理由は、生活困窮者、所在不明、ホテル・旅館業の倒産によるもの。

問 田沢湖上水・簡水合計で千三百七十万円を超える未収額になつているが、未収金の徴収計画はどうなつているのか。

答 未収金については、平成十一年前後から急激に増えている。平成十三年ごろから議会の指摘を受け解消に努めたが、思ったような成果が出なかつた。

合併を機に、新たな未収対策の要綱を作成し、今後は排水停止も含めた対応も検討したいと考えている。

問 神代地区の水道整備が遅れているがこれまで旧田沢湖



老朽管入れ替え工事

町ではどのような対応をしてきたのか。

答 平成二年ごろに旧田沢湖町の発展計画に上げられ、神代東部の調査が行われたが、水源の確保ができなかつた。

その後、農業用水を使った水の確保も検討したが、玉川の水を嫌う声があり中断した。

さらに、地下水も検討したが、強く汲み上げると濁るため断念した。現在、角館上水の利用を検討している。

(委員会の意見)

田沢湖上水の有収率の向上対策を行うこと。

神代地区の水道事業及び角館地区など、市全体の未整備地区を総合的な計画を作成し整備をするべきである。

健全な経営を維持するためにも、未収金の徴収には一層の努力を願う。

西木簡易水道事業は企業会計に入っていないが水道事業を全体的に見るためにも一本化した審査が出来ないか検討して欲しい。

以上の意見を付して全会一致で認定した。